

「令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（臨時）」議  
事概要

I 日 時

令和6年9月30日（月）から10月11日（金）

II 場 所

メール開催

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

令和6年10月に入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札  
【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

V 議事内容

（1）審議事項案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①業務システム統合基盤システムの構築及び保守、②共用 LAN システムビル内ネットワーク機器リプレイス及び保守業務、③関西支部移転に伴う LAN 整備及びネットワーク機器移設（ビル内 LAN 線整備工事）について、工期遅延の原因究明を行い、再発防止を十分図ること。また、適正な価格となるよう交渉すること</li> <li>・ 関西支部 Nakanoshima Qross 入居工事に係る技術的支援業務について、工期遅延の原因究明を行い、再発防止を十分図ること。また、今後は余裕を持った調達スケジュールを策定し、適正な価格となるよう交渉すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体工事の工期遅延に連動し本案件（関連工事）も遅延したため、今後は本体工事の進捗管理に積極的に関与し、全体として予定通り進むよう取り計らいたい。なお、実施に向けて引き続き価格交渉を行ってまいりたい。</li> <li>・ 工事遅延の主な要因は PMDA 内の担当者間の引継ぎ及び進捗管理が不十分であったこと、工事先の手続きを十分に把握しなかったためである。したがって、再発防止に向けて必要な業務の綿密な引継ぎ、PMDA 内での業務分担表を作成して PMDA として情報共有・進捗管理の実施、工事先とも必要な手続き等について事前の調整を行い各種調達の内容に漏れなく反映するとともに、余裕をもって工事に取り組めるようしっかりと事前の調整を行ってまいりたい。また、工事の市場相場を把握しつつ、適正な価格となるよう価格交渉を行ってまいりたい。</li> </ul>

以上